

## 2023(令和5)年中小岩小学校にある主な植物

番号	植物名		分類	説明
1	ヤ ツ デ	八 手	ウコギ科 ヤツデ属 常緑低木	葉は手のひらに深い切れ込みがあることに由来しています。八手の「八」は数が多いという意味があります。
4 61	サザンカ	山茶花	ツバキ科 ツバキ属 常緑広葉樹	秋から初冬にかけて、5枚の花弁の花を咲かせます。童謡「たきび」の歌詞に登場することでもよく知られています。
11 39	ナンテン	南天	メギ科 南天属 常緑広葉樹	中国原産で、日本には江戸時代に伝わりました。冬には赤くて丸い実をつけます。
19	サルスベリ	百日紅	ミソハギ科 サルスベリ族 落葉中高木	木登りが上手なサルでも、滑り落ちるほど樹皮が滑らかという例えから名付けられています。花が咲く期間が長いことから、ヒャクジツコウ(百日紅)の別名もあります。
22	トベラ	扉の木	トベラ科 トベラ属 常緑低木	枝葉を切ると独特の臭いを発することから、節分にイワシの頭などとともに鬼を払う魔除けとして玄関や戸口に掲げられる風習があったことから、「扉の木」と呼ばれました。「扉の木」が転じて「トベラ」と呼ばれるようになったともいわれています。
26 66	ソテツ	蘇鉄	ソテツ科 ソテツ属 常緑低木	ソテツは日本列島に自生している固有種です。生長は遅く、成長すると高さが8m以上になります。
30	イヌツゲ	犬柘植	モチノキ科 モチノキ属 常緑小高木	枝は灰褐色で、ほぼ滑らかです。刈込みに強いいため、生け垣や庭木、埋め込みに使われます。

## 2023(令和5)年中小岩小学校にある主な植物

番号	植物名		分類	説明
32	ナツミカン (ナツダイダイ)	夏蜜柑 (夏代々)	ミカン科 ミカン属 常緑低木	実った果実が冬を越して翌年の夏が食べごろになります。ナツダイダイやナツカンの別名があるが、明治時代に大阪方面にナツダイダイを出荷する際、ナツミカン(夏みかん)の商品名が使われました。そのため、ナツミカンの名前が広く知られるようになりました。
33 38	センダン	梅檀	センダン科 センダン属 落葉高木	薬用植物の一つとも知られ、温暖な地域の、海岸近くや森林の近くに多く自生しています。インドネシア原産の香木のセンダン(梅檀)はビャクダン(白檀)と呼ばれ特別な香りを放ち珍重されています。
34 95	カキ (カキノキ)	柿 (柿の木)	カキノキ科 カキノキ属 落葉樹	東アジア原産の固有種で、日本や韓国、中国に分布しています。食用のほかに、幹は家具材、葉はお茶替わりに加工されています。また、果実にはタンニンを多く含み、防腐剤に用いられます。
35	アオキ	青木	ガリア科 アオキ科 常緑低木	青々とした葉と赤い実が特徴で、庭木にも利用されています。アオキの由来は、1年を通じて葉や枝が常に青いことから名づけられたと言われています。
37 51	クスノキ	楠	クスノキ科 クスノキ属 常緑高木	神社などにも植えられ、巨木にあるものも多い。クスノキから樟脳が採取されることがよく知られる香木です。イチョウとともに、中小岩小学校のシンボルツリーになっています。
40 100	ユズ	柚子	ミカン科 ミカン属 常緑小高木	平安時代初期に、中国から日本には伝わったと考えられています。ユズは高さ4mほどまで成長し、葉脈に棘があるのが特徴です。
42 43 45 49 50 82 97	ソメイヨシノ	染井吉野	サクラ亜科 サクラ属 落葉高木	エドヒガンとオオシマザクラの雑種と交配して生まれ、高さは10から15mに成長します。日本では、最も多く植樹されています。

## 2023(令和5)年中小岩小学校にある主な植物

番号	植物名		分類	説明
44	イロハカエデ	いろは 紅葉	ムクロジ科 カエデ属 落葉高木	日本で最もよく見られる種類です。葉が手のひらのように5から7つに分かれています。
47	ハイチョウゲ	白丁花	アカネ科 ハクチョウゲ属 常緑広葉樹	名前の由来は、花が丁字型の白い花をつけることから、白い丁字花という意味で名づけられています。
48	ミカン	蜜柑	ミカン科 ミカン属 常緑低木	現代においてミカンは、ウンシュウミカンを指し、産地により様々なブランド名があります。
79	エノキ	榎	アサ科 エノキ属 落葉高木	本州から四国、九州、沖縄に広く分布し、山地や山野のほか、人里にもよく植えられています。エノキは大きな緑陰をつくるため、ケヤキやクスノキなどととも、神社仏閣や一里塚などに植栽されています。小岩にある一里塚もエノキです。
80 83	クロマツ	黒松	マツ科 マツ属 常緑針葉樹	アカマツに対して樹皮が黒褐色であることから名づけられています。針葉はアカマツより硬く、枝ぶりも太いことから、雄松や男松の別名があります。
47	ハイチョウゲ	白丁花	アカネ科 ハクチョウゲ属 常緑広葉樹	名前の由来は、花が丁字型の白い花をつけることから、白い丁字花という意味で名づけられています。
81 90 93	イチョウ	公孫樹 銀杏 鴨脚樹	イチョウ科 イチョウ属 落葉性高木	裸子植物で、日本では街路樹のほか、公園や神社の境内の多く植えられています。戦後、中小岩小学校の校庭にイチョウが植えられ、その後、シンボルツリーの一つになりました。1989(平成元年)、東京都は旧東京市成立100周年記念に現在のシンボルマークが制定されましたが、これはイチョウではなく、「T」を図案化され、躍動、繁栄、潤い、安らぎを意味しています。

## 2023(令和5)年中小岩小学校にある主な植物

番号	植物名		分類	説明
85	アオギリ	青 桐	ア オ イ 科 アオギリ属 落 葉 高 木	幹肌が青緑色で大きな葉がつく様子が、キリ科のキリ(桐)に似ていることから名づけられています。
86 87 88 92	ヒマラヤスギ	雲 松	マ ツ 科 ヒマラヤスギ属	原産地は、ヒマラヤ山脈西部の標高1500m~3200mです。成長すると高さ60m、幹の直径が3mに達することがあります。
96	メタコセイア	曙 杉	ヒ ノ キ 科 メタコセイア属 落 葉 高 木	メタコセイアは、メタコセイア属の唯一の現生種で、葉は短枝に羽状に対生し、秋に紅葉して枝とともに落ちます。
101	ク      ワ	桑	ク   ワ 科 ク   ワ 属	カイコの餌として古来から利用されてきた作物ですが、果樹としても利用されています。赤紫から青紫、黒紫を指す土留色は、桑の実の色を指しているともいわれています。